

名古屋市社会福祉協議会職員採用試験（公開問題・小論文試験）

■令和元年度

経済格差、地域格差、男女格差、情報格差などがあることで「格差社会」が問題となっている。日本において、あなたが不合理だと考える格差を取り上げ、不合理だと考える理由を説明し社会的な背景や影響を考察した上で、解消に向けて必要な取り組みについてあなたの意見を述べなさい。

■平成30年度

日本社会では今後の深刻な人口減少が予測されているが、総務省が発行する「平成28年度情報通信白書」では「近年の人工知能（AI）技術やロボット工学の急速な進歩によって、非定型的な知的業務や複雑な手仕事業務も将来的には機械によって代替されるとの見方が強まりつつある」と述べられ、将来的な労働力（担い手）不足の解消や新しい働き方の創出に寄与することが期待されている。

そこで、人工知能技術やロボット工学の急速な進歩によって、人々の働き方や社会のあり様にもたらされる具体的な変容とその効果及び課題を特定したうえで、働く者の立場から、また地域に暮らす一人の市民として、あなた自身がその変容にどう対応していくべきと考えるのか、意見を述べなさい。

■平成29年度

職場でともに働く部下やスタッフのワーク・ライフ・バランスを支援し、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）を指す「イクボス」を応援する取り組みが増えてきている。

このような現況を踏まえ、「イクボス」の普及や育児休業制度の充実をはじめとする子育て支援の取り組みが社会に与える効果を幅広く考察したうえで、その推進のために労働政策以外の観点も含めどのような取り組みが必要であるか、また、子育て支援の取り組みやワーク・ライフ・バランスが進む社会の中で働く者としてどういう働き方がしたいか、あなたの考えを具体的に述べなさい。